藤間秋男の

100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ　“ありがとうが集まる会社にしよう!”

ありがとうが集まる会社にすることで次のようなメリットがあります。

①いろんな改善がうまれます　②一体感がうまれます

③やりがいを持って働くことができます　④自社のファンが増えます

⑤会社に貢献できます

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより

(1)百寿を意味する12の条件（文藝春秋 6月号）

900人以上の百寿者と会った権威が明かす長生きの共通点（広瀬俊雄）

①長生きする食事とは。しっかり腹八分目まで食べる。メニューは若い人と同じ。肉、うなぎ、とんかつ、ステーキなども週に何度か食べる

②酒、タバコ。③酒 飲む人は男60ml 女25ml。酒量は少なく晩酌した日本酒一合が理想 ⑥タバコ 男30ml 女10ml。やはりタバコは良くない

③運動。ジョギング、ウォーキング、体操、筋トレは効果があってもよい。

④性格。女性→外向性、開放性、誠実性、活動的、社交性があり、依存心が少ない。男性→開放性、好奇心旺盛な人。

⑤医者とのかかわり→身体の細かい変化に気づいて早めに病院へ行き、医者の言いつけをしっかり守る人ほど。ただし病院好きではない。

⑥大病経験→ライフスタイルを見直し早期の対策

⑦家族→家族や入所者を含む施設の方とのつながりを大切にしている

⑧介護は在宅か施設か。→施設のスタッフも親身な人なら家族以上などなど。（百寿まで元気でいたいです。）

(2)四種類の人間（論語より。今100歳の方が論語学んでいます）

①生知（生まれながらに知る者は上の人）

②学知（学んで知る者は①の次）

③困知（ゆきづまって苦しみ学ぶ者は②の次）

④無知（苦しんでも学ばない者は民以下）

業績の良い会社の社長は④の人が多くいる

成功する会社は成功するようにやっている。」

（失敗する会社は失敗なようにやっている。（松下幸之助））

(3)「今日だけは10箇条」（ニール・A・ドナルド・ウォルシュ）

①今日だけは「幸福でいよう」（幸福は内部から生じる）

②今日だけは「自分自身をその場の状況に順応させて自分の欲望のために全てを順応させることは控えよう。（ありのままに）

③今日だけは「身体に気をつけよう」

④今日だけは「自分の精神を鍛えよう」

⑤今日だけは「三つの方法で元気を訓練しよう」

誰かに親切，修養のために少なくても三つは自分のしたくないことをしよう。

⑥今日だけは「瞑想よくしよう」

⑦今日だけは「今日1日だけを生き抜くことにし他はやめよう」

⑧今日だけは「1日の計画を立てよう」

⑨今日だけは「たった一人で静かにくつろぐ時間を30分だけ生みだそう。」

⑩今日だけは「恐れないようにしよう」

今日だけは この詩のように生きてみよう!!

（昨日より 明日より「今日」が大切で 宮本輝 感動会議 牛尾治朗）

(4)安酒飲むな，いい酒を飲め

①いくら高いお酒でも馬鹿話をしたり愚痴をこぼしながら飲むのでは安酒を飲んでいるのと同じである

②酒が原因で次の日遅れてくる人間は信用されない。飲んだ翌朝こそ早く出社しなさい。

③よい仲間と人生を語り友情を語り歴史を語り世界を語り限られた時間を有意義に過ごしていきたいものである

（お酒大好きの藤間もいい酒の飲み方したい）（青柳宏）

(5)何をやってもうまくいく人の7つの共通点

何をやってもダメな人はこの反対である

①穏やかな表情（多くの人が好印象）

②笑顔を絶やさない（やわらかい雰囲気）

③自分の人生を肯定する（心身共に充実し自ら次々の実績が出る）

④他人を否定しない（自然と味方を作ります）

⑤感謝の心を持つ（謙虚になり身の丈にあった行動します）

⑥運の強い人と付きあう（その人の幸運にまき込まれ運を自分に取り込める）

⑦自分の特性を生かす（自分の事を良く知る人）

過去と他人は変えられない，未来と自分は変えられます。

(6) 幸運の神様が好きな人。(笠巻勝利氏)
幸運の神様は、人の好き嫌いがハッキリしている。次の条件があてはまる人には近づきたくないようである。
① ツキのない人と付き合いをしている人。
② 物言を否定的に考えている人
③ 表情が暗く、ため息をつく人
④ 他人の言うことを聞かない人
⑤ 組織のルールを守らない人
⑥ 口ゲンカをついて約束を守らない人
⑦ 傍楽(はたらく)でなく傍楽の人
⑧ 人に利益より損害をよこす人
⑨ うまい話ばかり乗る人
⑩ 運の悪いことが多い人 などである。

hiro-sanさんのブログ
「人の心に灯をともす」

※自分が幸福だと思っている人が幸福なのです。現状は自分なりに努力した結果なのだから、他人とくらべて不幸だと思うことはナンセンス。人と会って話を引き出す、幸せそうで笑顔で明るい話をすればきっと幸せな人になるだろう。(天龍寺管長 関牧翁)
※幸運の神様が好きなタイプは「感謝的な人」「いつも楽しそうな人」「女性そうな人」「ニコニコ笑っている人」「機嫌がいい人」「自分は運がいいと言っている人」「幸せだと言っている人」
※自分が不幸だと思っている人は他人を幸せにすることはできない。
※自分の幸せや運の良さに気づける人でありたい。
(5)と(6)は同じようですね。

(7) 実力の差 (西田文郎) (Buzzet Beat通信)
実力の差とは実行力の差のことである。実力の差などどこにも存在しません。ただ実行力のあるなしの違いなのです。
早く実行し小さな失敗や成功をできるだけたくさん経験したものが実力者になるのです。スポーツの練習も同じです。
一見非凡なイチローや羽生名人に実力があるとしたら、人より早く実行し厳しい練習の中で無数の失敗を積み上げてきたからの実力の差とはまちがいなく積み重ねた経験の差なのです。
実力があるやつ、頭がいい。実行した人間がいるだけである。
(人生結局は実行力の差で成功が決まりますね。)

(8) 一歩踏み出しなさい。そうすると「景色」が変わります。(理念と経営 4月号)
①人間関係がうまくいかないのは、まず「自分に問題がある」と考えるべき。
②人は何のために働くか。それは自分が成長して社会に貢献するため。
③私が対応が失敗して会社が潰れなかった。私の経営が甘かった。
④「人のため、国のため」仕事にかける「想」としてはいけない。
⑤人は仕事で磨かれ、読書で磨かれ、人と交わって磨かれ、この複合的な結果として精神が鍛錬される。(丹羽宇一郎、佐々木常夫)
(9) 悪事は必ず天によって明るみにでる。(田舞徳太郎)
①不正事件に共通する「バレなければそれでよい」は天命に背いている。
②天は悪事をなした者を一人も漏らさず捕える。
③創業者が築いた悪事の報いは2代目か3代目にくる。
④「誇り」をもとう! 企業の信用は現場の人たちがつくる。
⑤職業を通して人に役立ち それと同時に自分の人格を向上させる尊い手段。
(10) 家業を工夫で進化させ、先端企業に変えた斜陽業界の革命児
①苦しみながら手堅い仕事があるからこそ、新しい分野に大胆な挑戦ができる。(10)負けミノダさん。理念と経営より)
②経営は一生懸命やっている方だけでなく、いろいろなセミナーに参加しビジネス書を濫読してきました。さまざまな工夫を取り入れていく企業と「何もしない企業」は負けています。
(11) 全力で立ち向かえば何だってやり遂げられる。(松田公太 元楽天副社長)
①夫の急死でまわりまわったのは社員と自信を持たせること。(星野社長)
②各部門に権限委譲をしお客様から社員の目の色が変わったとほめられる。
③「お客様のオーダーを断わるな」が基本で信頼をえるリピート率90%。
④やる気のない社員が一人でも増えれば会社は確実によくなる。

モハメド・アリの名言 去る6月4日になくなった元プロボクサー

不可能とは、変化させなければならないという力で世界を切り開くよりも、与えられた世界に安住しようとする、小心者の言葉だ。
不可能とは、現状に甘んじるための言い訳でしかない。
不可能とは、事実ではない。思い込みだ。
不可能とは、宣言するものではない。挑戦するものだ。
不可能とは、可能性だ。
不可能とは、一時のものだ。
不可能など、何もない。

リスクをとる勇気がない人間は、人生で何も達成することができない。
人間が試練に立ち向かう時、恐怖を抱くのは信頼が欠如しているからだ。私は私自身を信じる。